

## 正誤表・更新情報

本書中に訂正・更新箇所等がございました。お手数をお掛けしますが、下記ご参照頂けますようお願い申し上げます（2023年10月27日）

## ■第1版 第4刷（2023年3月10日発行）の修正・更新箇所

※第1刷からの修正箇所は [https://www.yodosha.co.jp/correction/9784758118729\\_corrections.pdf](https://www.yodosha.co.jp/correction/9784758118729_corrections.pdf) をご参照ください

頁	場所	修正前	修正後	補足	掲載
第1章 植物と動物					
20	図1-6 脚注5行目	…プロトン(H <sup>+</sup> )は <b>酸</b> 素と結合して水になる。	…プロトン(H <sup>+</sup> )は <b>酸</b> 素と結合して水になる。		23/08/10
21	9～10行目	ある分子 <b>から水素を奪う</b> ことも広い意味での酸化	ある分子 <b>が水素を奪われる</b> ことも広い意味での酸化		23/10/27
21	12行目	ある分子 <b>に水素を結合させる</b> ことは還元反応	ある分子 <b>が水素を受け取る</b> ことは還元反応		23/10/27
第7章 ビタミンB群の関与					
92	3～4行目	基質から奪った水素の受容体(酸化反応)あるいは基質に対する水素の供与体(還元反応)	基質から奪った水素の受容体( <b>基質から見ると</b> 酸化反応)あるいは基質に対する水素の供与体( <b>基質から見ると</b> 還元反応)		23/10/27
第9章 ヘムの合成					
120	本文11行目	…が、電子伝達 <b>性</b> に供する…	…が、電子伝達 <b>系</b> に供する…		23/03/17